

～『クルクルスケッチ』による、技術士の知名度向上へ向けたアイディアブレインストーミングの実施～ 勉強会「クルクルスケッチの理解と実践」を開催

1. はじめに

当委員会では、若手技術士・技術者の技術力向上をテーマに、定期的に研修会を開催しています。

今回は、札幌市立大学から講師をお迎えし、連想ゲームの要領を取り入れた『クルクルスケッチ』を学び、それらが技術士の知名度向上につながっていくことを目指して、9月に開催される講演会へむけた事前勉強会を開催しました。

2. 開催概要

○日 時：平成 26 年 7 月 15 日(火)

○場 所：さっぽろ大通コワーキングスペース
ドリノキ レクチャールーム(中央区南 1 西 4)

○参加人数：15 名

○プログラム

・ 18:30～19:00

講義「クルクルスケッチについて」

札幌市立大学

デザイン学部 デザイン学科 デザインコース

講師 福田 大年 氏

・ 19:00～20:30

ワークショップ「クルクルスケッチの実践」

・ 20:30～21:00

まとめ、振り返り

3. クルクルスケッチについて

札幌市立大学の福田大年先生より、クルクルスケッチの概要をご説明いただき、アイディアブレインストーミングを実施しました(写真-1)。

クルクルスケッチとは、各人が与えられた課題に対するアイデアをスケッチし、それに対してグループメンバーが思いついたアイデアを次々に付け足し

ていく福田先生が考案されたスケッチ手法です(図-1)。この方法は、同じグループのメンバーが考えたスケッチを見ることで「こうすればより良いものに」というアイデアを生み、多様なアイデアが書き込まれたスケッチからは個人ではたどり着けない結果を得ることができます。また、アイディアブレインストーミングとは 4 つのルールに基づいた、グループや集団におけるアイデアの発想と抽出を行うことを言います。そのルールとは、①批判厳禁、②自由奔放に、③質より量、④便乗するというものです。



写真-1 福田大年先生による講演の様子

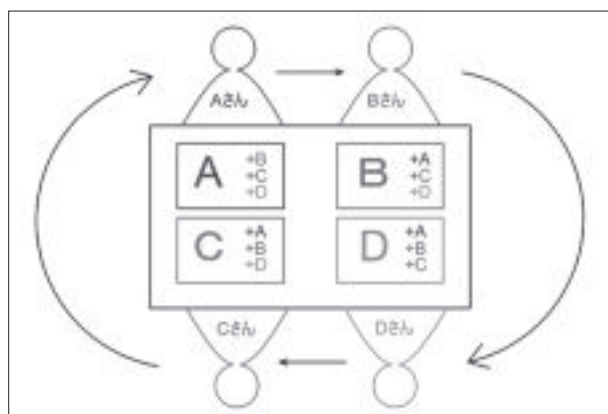


図-1 クルクルスケッチの実施方法

勉強会では、クルクルスケッチによってアイデアの閃きを促進し、積極的なアイディアブレインストーミングを実施しました。

4. 実践

クルクルスケッチの勉強会の流れは次のようになります。

①グループ分け・トレーニング →②課題選び
→③クルクルスケッチ実施 →④共有・まとめ

はじめに、参加者のグループ分けを行い、作業は全てグループで行うこととなります。トレーニングでは、日頃スケッチをしない方でも楽しめるような丸や三角といった簡単な図形をひたすら描くことで、スケッチに慣れて頂きました。それが終わると、次は同グループメンバーの似顔絵を丸と三角を用いて互いに描くことで初対面でも和やかに作業を進めることができるようになりました。

課題選びでは、各グループに対して異なるキーワードが二つ、くじ引き形式で与えられました。キーワードの一つ目は、「一般の人々に伝えたい技術士としてのこだわりや姿勢に関するもの」、二つ目は「一つ目のキーワードを表現するための方法、アプローチの仕方に関するもの」になっていました(例：①国土の夢を実現するプロ、②使いたくなる文房具)。

クルクルスケッチでは、課題選びでグループに与えられた二つのキーワードに対してそれぞれが抱いたアイデアを紙上に書き留めていく作業を行いました。その際のアイデアは、絵だけでなく閃いた言葉によっても表現・補足することができます。それが

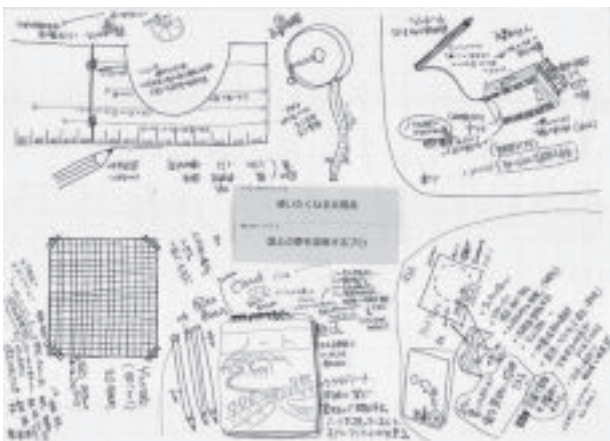


図-2 グループのクルクルスケッチの例

終わると、個人がそれぞれスケッチしたアイデアに対してグループメンバーが次々にアイデアを付け足していく作業を行いました(図-2)。

最後の共有・まとめでは、他グループのスケッチを見て回りながら他者のアイデアに対するコメントを書き加えつつ、自分が良いと思う作品に投票し、最優秀賞を決定しました。最優秀賞作品は、図-2の中央下段のスケッチが基となった「技術を学べる学習ノート」になりました。

5. おわりに

今回の勉強会を通じて、クルクルスケッチを行うことで、よりよいアイデアがスムーズに楽しく得られることを体験することができました。

お忙しいところ、今回の勉強会の講師を快く引き受けてくださった福田先生に、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

当委員会では、若手技術士・技術者の技術力向上を目指して、今後も定期的に研修会を開催していくとともに、技術士の知名度向上に向けて、新たな活動にも取り組んでいきたいと考えています。幹事一同、皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

続きは次号のコンサルタンツ北海道に！

今回報告した勉強会で検証した「クルクルスケッチ」の手法を用いて、9月24日に公開型のワークショップを含む研修会を開催します。

ワークショップで行うアイディアブレインストーミングの対象は「技術士のPRツール」。

ここで出てきたアイディアは、青年技術士交流委員会発信のPRツールとして、今後、試作・製品化を目指していく予定です。

続きは、次号のコンサルタンツ北海道、または下記のfacebookにて紹介します！

facebookで情報を発信しています！

当委員会が主催する研修会などの情報を随時発信しています。facebookアカウントをお持ちの方は「青年技術士交流委員会」で検索し、「いいね！」をお願いします。

一緒に活動する仲間：幹事を募集しています！

当委員会の研修会などを一緒に企画・運営したりする仲間：幹事を募集しています。まずはお問い合わせ下さい。 seigikyo@ipej-hokkaido.jp